

NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事会議事要旨	
会 議 名	2014 年度第 4 回理事会
日 時	2015 年 4 月 12 日 (土) 13:30~16:25
場 所	西宮市市民交流センター B会議室
参 加 者	理事 側垣 江口 鷺見 島村 長谷 古野
欠 席 者	理事 家本 西澤 監事 能島 森本
議 案	<p>1. 報告事項</p> <p>1) 2014 年度事業および RTC 関連報告</p> <p>2) 2015 年度 4~5 月の事業</p> <p>3) 2014 年度認証規格プロジェクト報告</p> <p>2. 協議事項・審議事項</p> <p>(1) 管理部門 2015 年度定時総会にむけてのスケジュールと当日スケジュール</p> <p>(2) 総会資料等について</p> <p>1) 2014 年度事業報告</p> <p>2) 2014 年度収支決算報告</p> <p>3) 2014 年度運営方針等総括</p> <p>4) 2015 年度運営方針、事業および RTC 活動方針案</p> <p>5) 2015 年度事業計画案</p> <p>6) 2015 年度収支予算案</p>
【報告事項】	
1) 2014 年度事業および RTC 関連報告	<p>2014年度事業について報告が行われた。第1事業では、「資格更新のための必須研修」を7回、「CAPスペシャリスト養成講座」を3回、CAPスペシャリスト研修を2回、出前講座を3回実施した。第2事業では、「子どもへの暴力防止のための基礎講座」を6回、「幼児期の子どもの生きる力を育む 子育て支援講座」を2回、専門職研修を1回実施、依頼を受け寄稿を2回行った。第6事業では、他団体とのつながりが増え、そこからの依頼、ネットワーク事業を含み計20の事業を行った。グループ支援に関する事業4、保育士研修2、大学での単発講座2、司法面接研修アクター2、CCJ事業の紹介3、ネットワーク関連事業4、社会的養護に関する事業3となっている。</p> <p>委員会・会議では、トレーニングに関するものを4つ実施し、ホームページリニューアルに関してプロボノチームとの打ち合わせが9回、認証規格(社会指標づくり)プロジェクト学習会・会議を7回行った。ほか、「体罰をみんなで考えるネットワーク」は事務局メンバーとして企画立案の段階から、また「子どもの権利条約批准20周年キャンペーン委員会」「関西子どもの権利条約フォーラム実行委員会」に参画した。</p> <p>寄付事業では、クラウドファンディング READYFOR? 「子どもにだけ見える世界チャイルドビジョンのうたを届けたい」プロジェクト(5~8月、支援者123人)、Give One 「児童養護施設の子どもの“あなたは大切”と伝えよう」プロジェクトを継続(支援者延べ168人)、第3回E-ファンディングキャンペーン「児童養護施設の子どもの声をお届ける」プロジェクト(10~11月がキャンペーン期間でその後も継続、支援者延べ63人)を実施した。</p> <p>RTC 関連報告では、2点報告が行われた。1) これまでの活動認定証の発行数は1,297で、2015年3月現在で、活動認定証所有者は766人となっている。来年2016年4月に更新期限を迎える方で、研修未受講の方は約400人いらっしゃるので、2015年度は必須研修を各地で実施する。2) 3月26日(木)、西宮市民交流センターにて、RTC間協力会合を実施した(各RTCから3人ずつ参加。CCJからは江口理事。事務局一長谷、重松)。主な議題は、各RTCの現況報告、フィリップモリスジャパン社助成事業の配分(2015年度分)、中学生暴力防止プログラムトレーナー養成についてであった。ほか、今年度より、前年度のエリア内CAPプログラム実</p>

<p>2) 2015 年度 4～5 月の事業</p> <p>3) 2014 年度認証規格プロジェクト報告</p>	<p>績数共有を毎年 6 月末に行うこととなった（これまでは 8 月末）。</p> <p>総会までに行う 2015 年度事業について、報告が行われた。</p> <p>2014 年度は学習会・会議を含み、計 7 回プロジェクトを行った。現在、メンバー間で 2014 年度報告の確認を行っており、5 月には理事会へ報告（2014 年度最終版）を行う。</p>
<p>【協議事項・審議事項】</p>	
<p>(1) 管理部門 2015 年度定時総会にむけてのスケジュールと当日スケジュール</p> <p>(2) 総会資料等について 1) 2014 年度事業報告 2) 2014 年度収支決算報告</p> <p>3) 2014 年度運営方針等総括</p> <p>4) 2015 年度運営方針、事業および RTC 活動方針案</p> <p>5) 2015 年度事業計画案 6) 2015 年度収支予算案</p>	<p><決議事項> 2015 年度定時総会にむけてのスケジュールと当日スケジュールを承認する。総会当日、役員は 11：30 に集合し、事前打ち合わせを行うこととする。</p> <p>第 1 号議案案として示しながら、説明が行われた。事業報告は毎回の理事会で報告したものを一覧表にした。収支報告については、経常収益は会費 2,963,000 円、寄付金 1,898,613 円、助成金 6,794,020 円、事業収益 6,651,189 円（講座割引 48,000 円を含む）、登録料・更新料・フレッシュャーズサポートを含むその他収益 258,262 円を合計して、18,517,084 円の収入となった。経常費用は事業費と管理費に分かれ、各 16,915,916 円、2,961,680 円の計 19,877,596 円の支出で、当期正味財産増減額-1,360,512 円に前期繰越正味財産額を加え、次期繰越額が 2,145,218 円となる。</p> <p>併せて、「4 月 7 日に監事 2 人が事務所にて帳簿・通帳等の確認をはじめとする 2014 年度監査を行い、問題はなかった」旨、書面にて報告がなされた。</p> <p><決議事項> 2014 年度事業報告、収支決算報告を承認する。 第 14 回定時総会議案は、第 1 号議案 2014 年度事業報告と会計報告、第 2 号議案 2015 年度事業計画案と活動予算案とする。</p> <p>2014 年度に立てた運営方針に沿って、各理事から今年度の総括が述べられた。</p> <p><決議事項> 総括のまとめは事務局で行い、後日理事にメールにて確認後、2014 年度事業報告書に掲載する。</p> <p><決議事項> 2015 年度運営方針、事業および RTC 活動方針案を承認する。</p> <p>運営方針、事業方針に基づき、事業の柱立て（第 1～6 事業）ごとに目的を表記し、事業方針との関連付けをして、実施計画を策定した。 収入予算は、会費・寄付金は昨年並み、助成金は決定しているもの、事業収入は事業計画にもとづき立てている。支出予算は、管理費は昨年並み、事業支出は事業計画にもとづき計算、2015 年度は消費税納入事業者対象外となるため租税公課は減額との説明が行われた。</p> <p><決議事項> 2015 年度事業計画案および収支案予算案を承認する。</p>
<p>【議事録署名人】</p>	<p>島村理事、古野理事</p>